



施設に放たれるサケの稚魚

サケ稚魚放流作業が幌沖内川上流で行われ、新星マリン漁業協同組合、道立水産ふ化場ら関係者が、サケの稚魚約200万匹を4月12日から2日間にわけて稚魚中間育成施設や、町内の川へ放流しました。

稚魚は、道立水産ふ化場道北支場から輸送され、回帰率を高めるために、中間育成施設で約2週間飼育された後、川に放流されました。

放流された稚魚は、約4年後に2%程の回帰率で遡上するとされています。

4 | 12
元気に戻れ
と願い込め

幌沖内川で
サケ稚魚放流



保護者と交通安全のルールを学ぶ園児たち

小平・鬼鹿幼稚園にてこぐまクラブ発会式が開催されました。

こぐまクラブ発会式は、幼稚園児の父母と先生が相互に理解協力し、クラブ運営委員と幼稚園が一体となって園児を交通事故から守るため、交通安全教育の徹底を図ることを目的として、毎年実施されています。

小平幼稚園で行われた発会式では小平駐在所の東所長から交通安全についてのお願いがあつた他、園児、父母と一緒に歌う交通安全の歌、ビデオ鑑賞などが行われ、参加した園児、保護者は交通ルールに対する意識を高めました。

4 | 13・19
交通ルール
を学ぶため
に

幼稚園
こぐまクラブ
発会式



防火パレードを皮切りに始まる
春の火災予防運動

留萌消防組合小平消防署・鬼鹿支署と小平消防団（小平・達布・鬼鹿分団）による防火パレードが町内一斉に行われました。

小平地区では消防車両7台、達布地区では4台、鬼鹿地区では4台の消防車両が各地域を巡回し、火の用心を呼びかけました。

防火パレードは、空気が乾燥し、火災が発生しやすいこの時期に行われる「春の火災予防運動」初日に実施されています。

30日までの期間中には、高齢者単身世帯への防火訪問活動や、火災防ぎよ訓練等が行われます。

4 | 20
春の火災
予防運動
始まる

町内で消防車両
防火パレード



林野火災予防意識を高める参加者

小平町林野火災予防対策協議会が役場健康福祉センター2階大会議室で開かれました。

小平町では4月21日～5月31日までを「林野火災予防強化期間」と定めており、予防の啓発に努めています。

出席した関町長は「近年町内で林野火災は発生していないが、徹底した予防と啓発に努めていかなければならない」とあいさつし、林野火災防止への決意を新たにしています。

4 | 24
かけがえの
ない財産を
守るために

小平町林野火災
予防対策協議会